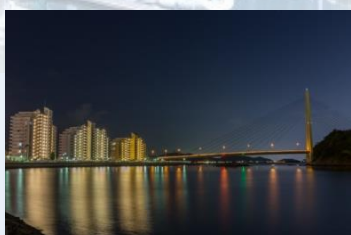
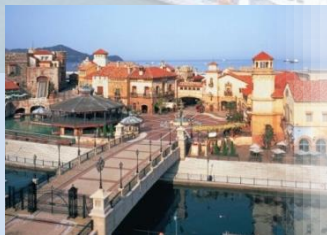




和歌山が目指す I R



1. 日本型 I R（統合型リゾート）について	2
2. 和歌山 I R の意義・目標・コンセプト	6
3. I R 予定区域・和歌山マリーナシティ	9
4. 和歌山が目指すリゾート型 I R	10
5. 地域に愛される和歌山 I R になるための仕組み . .	16
6. 課題と対策	18
7. I R の開業まで	22
8. 他の誘致自治体の状況	24

I R（統合型リゾート）とは



写真：シンガポール マリーナ・ベイ・サンズ



(※) 本写真の著作権はガンティン・シンガポール・リミテッドに帰属します

写真：シンガポール リゾート・ワールド・セントーサ

- カジノ施設に加え、ホテルやMICE施設(国際会議場・展示施設)等、様々な施設が一体となった複合観光施設
- すべての施設は**民間事業者により建設・運営**される
- カジノ施設はIR施設の床面積の合計の**3%以下**
- 3カ所を上限**として、国土交通省が区域を認定する

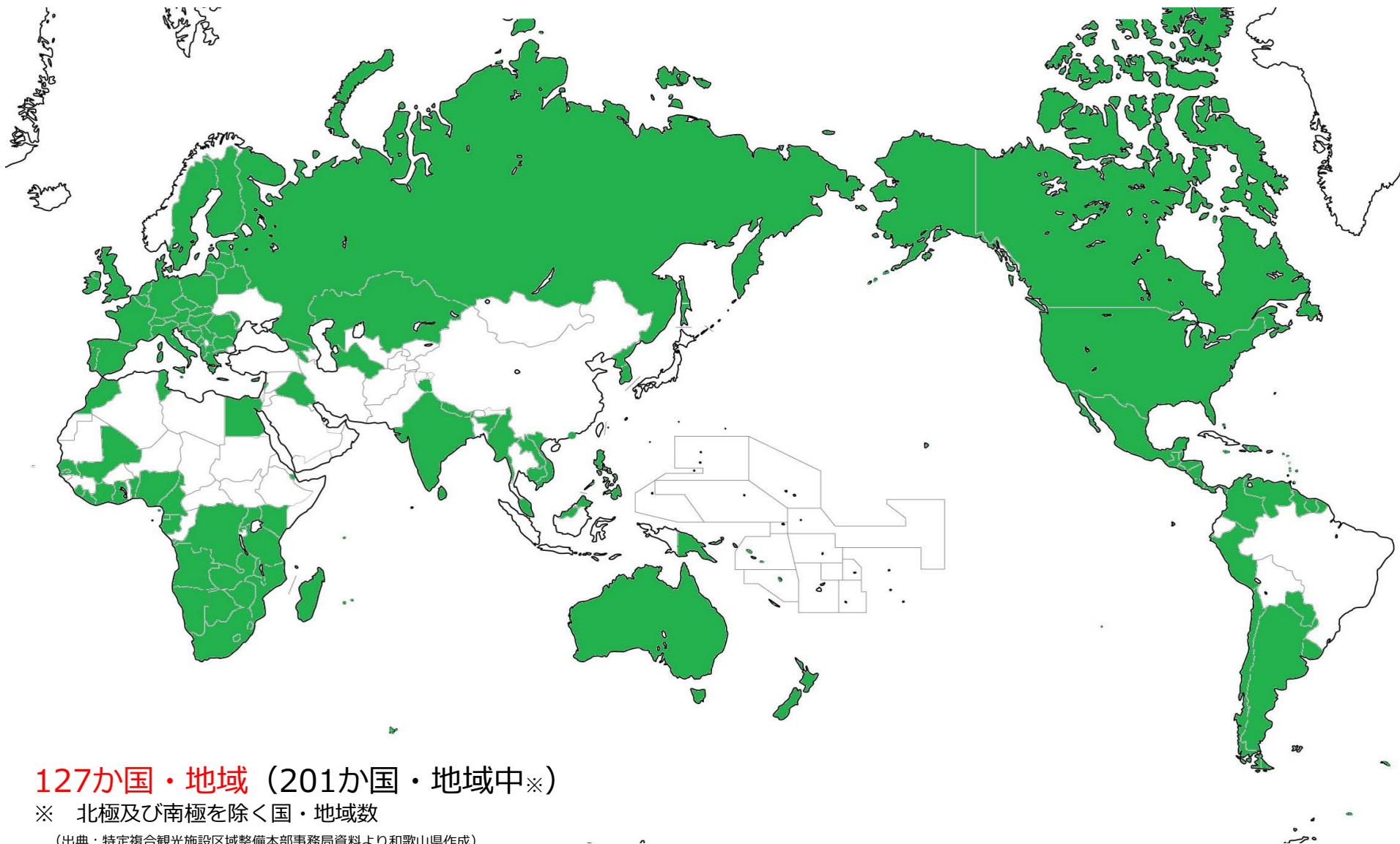
2010年に2つの I Rが開業したシンガポールでの効果

	2009年	2010年	2011年	伸び率 (2009年→2011年)
観光客数	968万人	I R開業	1,317万人	136%
観光収入	126億S\$ (約7,938億円)		222億S\$ (約1兆3,986億円)	176%

※1S\$ (シンガポールドル) = 約63円 (2011年平均相場)

- 外国人観光客 1 人当たり旅行消費額が **3 割増加**
- 約2.2万人の雇用**を創出 (直接雇用)

世界でカジノが合法化されている国・地域（2013年）



127か国・地域（201か国・地域中※）

※ 北極及び南極を除く国・地域数

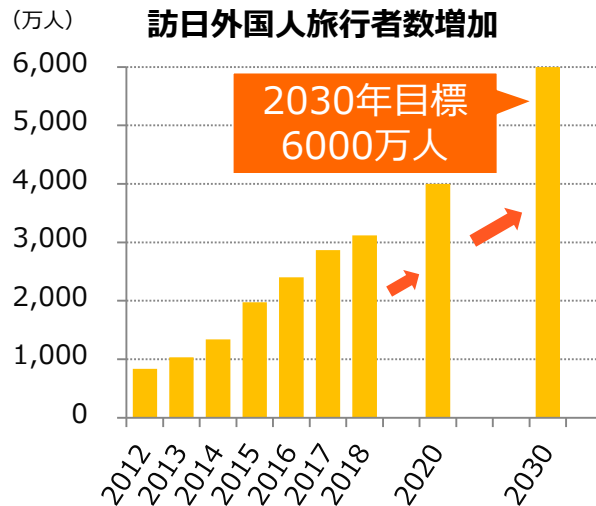
（出典：特定複合観光施設区域整備本部事務局資料より和歌山県作成）

日本型IR整備の目標

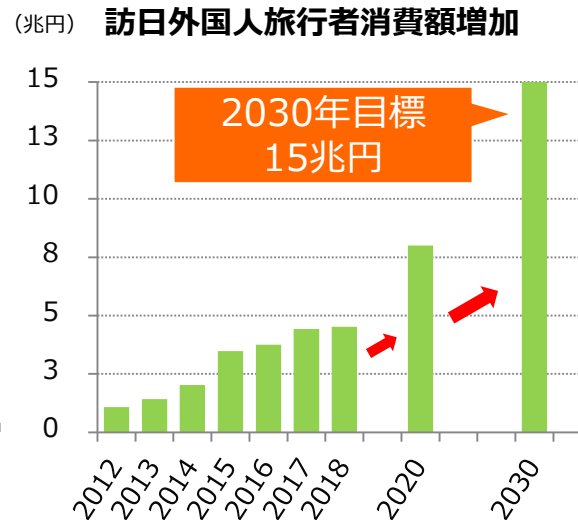
⇒ 国際競争力の高い滞在型観光の実現

○世界中から観光客を集める 政府の観光戦略における目標(2030年)達成に貢献

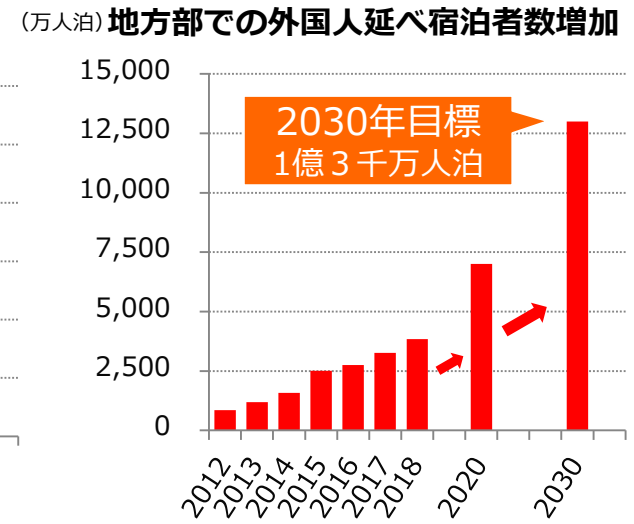
- ・訪日外国人旅行者数 **6,000万人**
- ・訪日外国人旅行消費額 **15兆円**
- ・地方部での外国人延べ宿泊者数 **1億3,000万人泊**



(日本政府観光局「訪日外客数」を基に作成)



(観光庁「訪日外国人消費動向調査」を基に作成)



(観光庁「宿泊旅行統計調査」を基に作成)

○ 来訪客を国内各地に送り出す

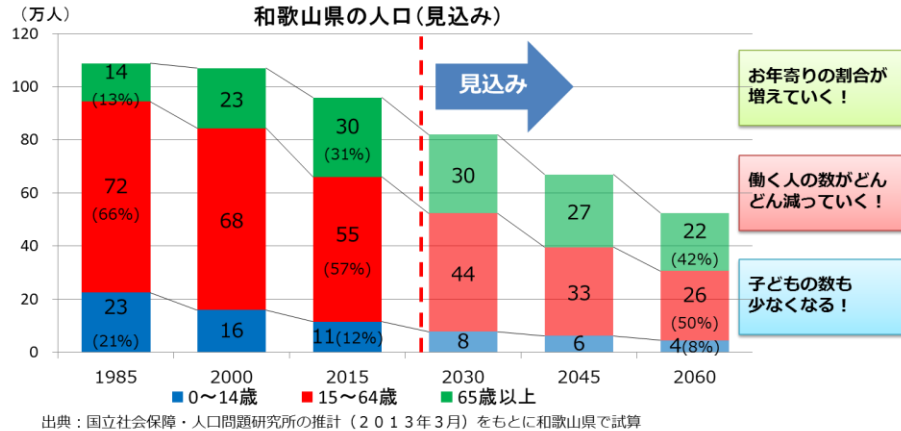
東京や大阪といった**ゴールデンルート以外の地域**を含めた各地へ観光客を呼び込む

○ これまでにないような国際的なMICEビジネスを展開

I R整備の意義（和歌山県）

和歌山県の課題

【人口減少・少子高齢化】



【所得低迷】

- 県内総生産（全国39位）
H30：3兆6,043億円
- 製造品出荷額等（全国32位）
R1：2兆6,475億円
- 一人当たり県民所得（全国28位）
H30：291万円

課題への対応

- ICT産業、小型ロケット発射場等の企業誘致など、産業振興
- 国の機関や5つの大学の誘致実現
- 国内外からの観光客を増加させる観光振興
- 紀伊半島一周高速道路など、交通ネットワーク整備



今後本県が持続的に発展していくためには、
既存の取り組みに加えて**新たな試み**が必要

IR整備の意義

今日の日本で、これだけ大きい投資は稀有であり、成長戦略の一つとして、
「**IR**」という新たな要素を取り入れることは、将来の和歌山に対して必要なこと。

多種多様な観光資源を背景としたリゾート型IR

「Sports & Wellness」をコンセプトに掲げ、
オーシャンフロントの立地と豊富な資源を生かし、
都市部では体験できない自然志向の楽しみと癒やしを提供する

文化・自然

世界的な旅行ガイドブックでも高評価を得ている**世界遺産「高野山・熊野」**をはじめ文化遺産や自然が豊富



アクティビティ

ダイビングやセーリング等のマリンレジャーをはじめ、サイクリングなど様々な**体験型観光**が可能



温泉

「にっぽんの温泉百選」に選ばれた白浜温泉や熊野本宮温泉郷など、**日本有数の温泉地**



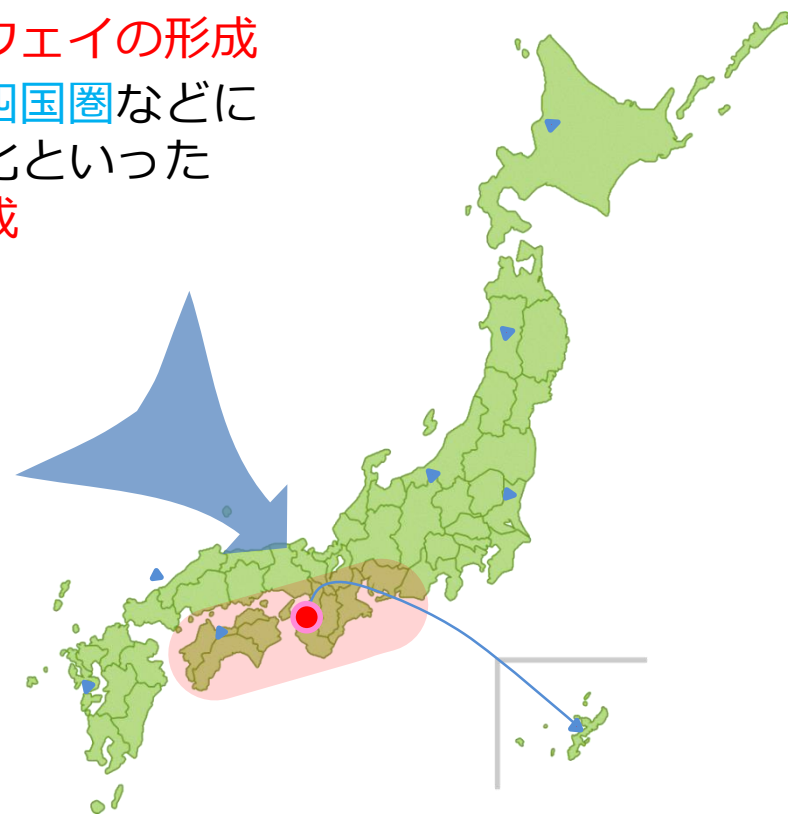
食

四季を通じて楽しめる**「果樹王国」**
日本一の生マグロの水揚げ量を誇る海の幸



目標

- ▶ 地方部と世界をつなぐ**新たな観光ゲートウェイの形成**
- ▶ 関西圏のみならず、**伊勢湾**、**紀伊半島**、**四国圏**などに存在する観光資源をつなぎ、巡礼や食文化といったストーリー性を持つ**新たな観光街道の形成**



- ▶ **リゾート型IR**ならではの**MICEビジネス**の展開

- 世界的な観光フォーラム、旅行博覧会等の積極的な誘致・企画
- オーシャンフロントの特性を生かしたMICE空間の形成



MICE開催件数の増加に寄与し、日本の観光産業の拠点の一つに

I R 予定区域・和歌山マリーナシティ



○ 関西国際空港に近接

- ・関西国際空港から最寄り I C まで車で約30分
- ・海上ルートの活用が可能

○ 京阪神に近接

- ・大阪から約60分、京都・神戸から約90分以内と抜群のロケーション

○ すぐに着工が可能

- ・1994年に竣工した人工島で、全域整地造成済であるためすぐに着工が可能

○ マリンスポーツ・マリンレジャーの聖地

- ・セーリングナショナルトレーニングセンターがあり、世界大会も開催される日本屈指のスポット
- ・最大130ftの船が停泊可能なヨットハーバー（海上係留約220隻/陸上保管約280隻）

和歌山が目指すリゾート型 I R

意匠・デザイン

I R 区域から臨む**日本遺産「絶景の宝庫 和歌の浦」**と調和し、我が国を代表する**象徴的で先進性のある建築物**

和歌山 I R を構成する施設

① MICE施設

・リゾート型IRならではのMICEビジネスを展開するとともに、国のMICE開催件数増加に貢献し、日本の観光産業の拠点となる施設

② 魅力増進施設

・高野・熊野の世界遺産をはじめ、日本の伝統、文化、芸術等を最新の技術を用いて発信し、世界中の観光客を惹き付ける施設

③ 送客施設

・IR来訪者を県内及び全国の観光地へ送り出し、新たな観光街道の形成を促進する等、世界と国内観光地をつなぐ施設

④ 宿泊施設

・ビジネスやワーケーション目的の利用者、観光目的のファミリー、VIP等、多様な宿泊客の需要に対応可能な施設

⑤ 来訪及び滞在寄与施設

・ビジネスからレジャーまで、大人から子供まで、外国人でも日本人でも、幅広い客層が楽しめるエンターテインメント性溢れる施設



和歌山が目指すリゾート型 I R（MICE施設）

① MICE施設

国際会議場と展示施設（国際的規模の展示会、見本市等を開催する施設）

これまでにないようなスケールとクオリティを有するMICE施設を整備することにより、国際的な会議等を開催し、**新たなビジネス**の起爆材とする

和歌山 I Rが目指すのは

リゾート型IRならではの会議や展示会の誘致

○オーシャンフロントの立地やリゾート型IRの特性を生かしたMICE空間を形成



○観光フォーラム、旅行博覧会等の積極的な誘致



国際会議や展示会等を開催しない日には、スポーツイベントやコンサート等を開催し、誘客効果を最大化

和歌山が目指すリゾート型 I R（魅力増進施設）

② 魅力増進施設

我が国の伝統、文化、芸術等を生かした公演その他の活動を行うことにより、我が国の観光の魅力の増進に資する施設

（劇場、演芸場、音楽堂、映画館、博物館、美術館、レストラン等）

和歌山 I R が目指すのは

和歌山が育んできた豊かな自然や高野・熊野の世界遺産をはじめ、日本の伝統、文化、芸術、四季折々の自然などの様々な魅力について、最先端技術と融合させるなどして、これまでにないクオリティで発信し、世界中の観光客を惹き付ける施設



能



合気道



茶道



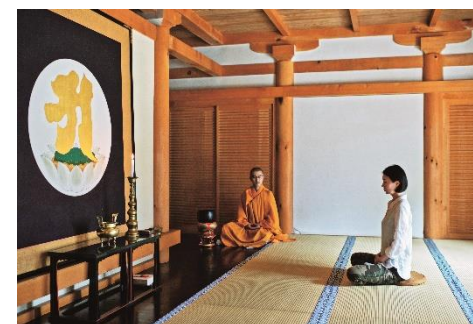
和食の文化（和歌山県：醤油発祥）



祭り（那智の扇祭り）



華道



阿字観体験（高野山）

和歌山が目指すリゾート型 I R（送客施設）

③ 送客施設

日本の観光地の魅力を紹介し、各地への旅行に必要な手配を一元的に行い、IRへの来訪者を県内及び全国の観光地へ送り出す送客施設

ショーケース機能

和歌山や全国の観光地の魅力を最先端技術で発信



コンシェルジュ機能

旅行の計画からサービスの手配までワンストップで対応



多言語対応

英語＋複数言語で対応



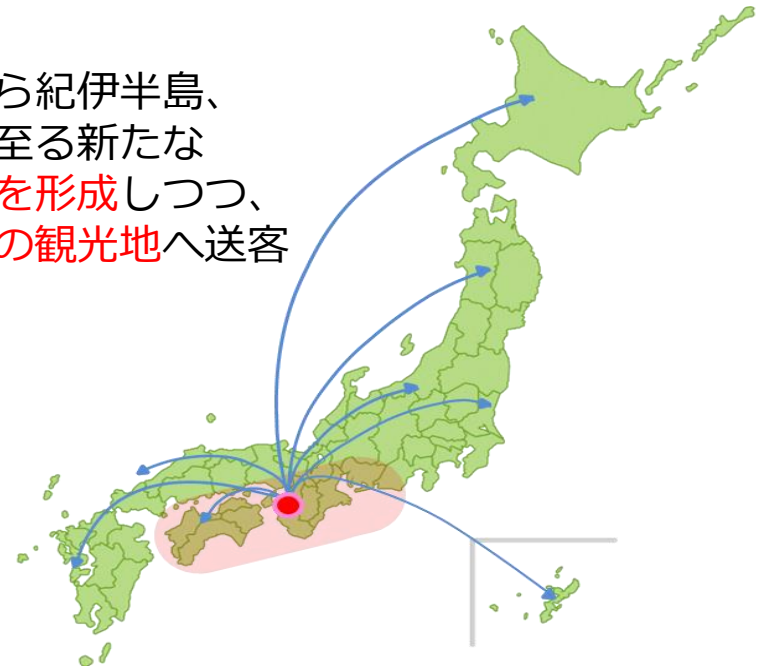
和歌山 I Rが目指すのは

○和歌山県内の周遊を促進

IR



○伊勢湾から紀伊半島、四国圏に至る新たな観光街道を形成しつつ、日本各地の観光地へ送客



和歌山が目指すリゾート型 I R（宿泊施設）

④ 宿泊施設

これまでの日本にはない世界水準の宿泊施設

国の示す要件

- 全客室の床面積合計が、概ね10万㎡以上
- 世界の宿泊施設の実情を踏まえた客室面積、スイートルーム数を備える

日本の客室数の多い主なホテル

都道府県	ホテル名	客室数
東京都	品川プリンスホテル	3,560
千葉県	アパホテル&リゾート	2,007
東京都	ホテルニューオータニ	1,439
東京都	京王プラザホテル	1,437
東京都	アワーズイン阪急	1,388

和歌山 I Rが目指すのは

- 多様な宿泊客の需要に対応可能な宿泊施設
- グローバルでハイレベルなサービスによる質の高い滞在環境
- I R各施設と連携した利便性の高いサービス提供



和歌山が目指すリゾート型 I R（来訪及び滞在促進寄与施設）

⑤ 来訪及び 滞在促進寄与施設

幅広い人々が楽しめる、I R への集客力を高める施設

和歌山 I R が目指すのは

ビジネスからレジャーまで、大人から子供まで、外国人でも日本人でも、幅広い客層が楽しめる満足度の高いエンターテインメント性溢れる施設

○幅広い客層が楽しめるエンターテインメント施設



○質の高い飲食・物販・サービス



○「Sports & Wellness」を核とする各種体験メニュー



○ナイトタイムを活用した
新たな魅力の創出



地域に愛される和歌山 I R になるための仕組み

スマートな I R の形成

- IoTや環境技術など最先端技術の活用
- 低炭素社会・循環型社会の実現
- 環境に優しい持続可能な和歌山 I R の運営



多様な来訪者に配慮した空間づくり

- ユニバーサルデザイン
- 多様な宗教・文化に配慮したサービス



施設の意匠

- 日本遺産「絶景の宝庫 和歌の浦」と調和した意匠



防災対策、災害時の利用者の安全確保

- 利用者の安全確保・早期復旧が可能な設計、配置
- 事業継続計画（BCP）の策定
- 確実な避難を実施するための体制整備
- 周辺住民の避難所の役割



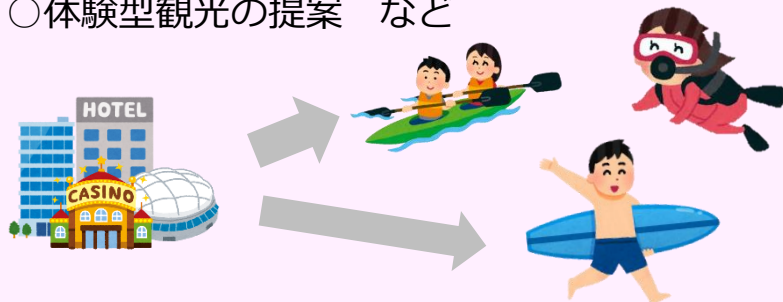
地域振興

I R 来訪者を積極的に地域へ誘導し、和歌山の観光施設や地元商店を楽しんでもらう仕組みを作る

- カジノでの利用額に応じたポイントを地域の商店街や観光地でも活用できる仕組みを構築



- 体験型観光の提案 など



地元優先

地域経済に貢献する仕組みを作る

- 地元産品の調達、地元雇用、地元企業への発注を推進



高等教育機関との連携

大学等と連携して、観光産業を担うグローバル人材の育成を目指す

- I Rで大学生の観光・宿泊業等のインターンシップを実施
- 観光動態のビッグデータの活用 など



ギャンブル等依存症対策（国による規制と県独自の運用）

県と事業者が
協力して行う運用

IRカードの作成



使える額の上限を設定

予防教育の実施



小中学校・高等学校で「依存症のリスク」などを説明

ドレスコードの設定



適切でない服装での入場を規制

問題ギャンブラー対応



依存症対策専門員を配置

「お声がけ」
「退場をうながす」
などの 対応を実施



入場回数を制限 入場料を賦課

マイナンバーカードを活用



7日に3回
28日に10回
6,000円/日

ATMの制限



カジノ場内設置×
周辺貸付機能×

クレジットカードの利用を規制



日本人は現金のみ使用可能

利用制限措置



二十歳未満の者の
カジノ施設
への入場禁止



※本人・家族
申告による
入場規制

国による規制

ギャンブル等依存症対策（I Rカード）

I Rカードとは

（例）



○日本人及び外国人居住者は、
カジノ施設への入場の際して、
I Rカードを作成しなければならない。

- 現金をチャージし、カジノで利用
- 利用額に応じたポイントの付与



I Rカードのメリット

○利用上限額を設定

- ➡ 無意識の使い過ぎを防ぎ、
破産リスクを回避
- ➡ チャージ行為を必要とすることで、
クールダウンを促す



○利用者がいくら使ったかを一元管理

- ➡ 過度な利用をしている者を把握し、
問題への迅速な対処を行う



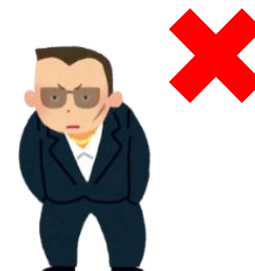
治安の悪化防止

- 警察官・警察職員の増員や警察施設の設置等、**警察力の強化**
- 事業者による**カジノ施設内外における監視・警備等**



暴力団員等の排除

- カジノ施設への**暴力団員等の入場禁止**
- I R事業者は反社会的勢力の関与を徹底的に遮断



マネー・ローンダリング対策

- 不正な資金が流通しないように、
現金取引時の確認や記録の作成・保存などを行う



主 な 基 本 的 施 策

予防教育・普及啓発

[予防教育]

- ・県教育員会作成のリーフレットで授業を実施
- ・専門家による依存症予防教育の実施

[普及啓発]

- ・依存症チェックリスト掲載のリーフレットにより啓発
- ・インターネット検索運動広告による相談窓口案内を実施



相談・治療・回復

[相談]

- ・依存症相談拠点を精神保健福祉センター内に設置

[治療]

- ・治療拠点機関及び専門医療機関を選定（県立こころの医療センター）
- ・4圏域（和歌山・紀北・紀中・紀南）に専門医療機関を整備予定

[回復]

- ・4圏域（和歌山・紀北・紀中・紀南）に自助グループ（当事者会・家族会）を整備予定
- ・県と自助グループ共催の相談会を開催



県立こころの医療センター



I R 開業までの流れ

国

県

2020年
3月30日

I R 事業者の公募開始

参加資格審査

2021年
1月15日

提案審査書類の提出期限

事業者選定委員会の開催

6/2
優先権者候補の選定

和歌山市・県公安委員会協議

2021年
7月20日

I R 事業者の選定

2021年
秋～冬頃

計画作成

認定申請

和歌山市・県公安委員会協議
区域整備計画案の作成
住民意見の聴取

和歌山県議会議決
和歌山市の同意

2022年
4月28日まで

国への I R 区域認定の申請

国による審査

2022年
夏～秋頃

I R 区域認定（国土交通大臣）

カジノ免許付与（カジノ管理委員会）

2027年
秋頃

I R 開業

基本協定

実施協定締結までの間の、
県と事業者の役割等と諸手続きを規定

- 優先権者の費用負担に関する事項
- IR事業者の設立に関する事項
- 廉潔性の確認に関する事項 など

2021年8月25日
基本協定締結



区域整備計画

県と事業者が共同して作成

- IR区域の整備の方向性
- 将来の地域の在り方
- 納付金や入場料の使途(※) など

※地域経済の振興、社会福祉の増進、教育の振興に関する施策等に活用



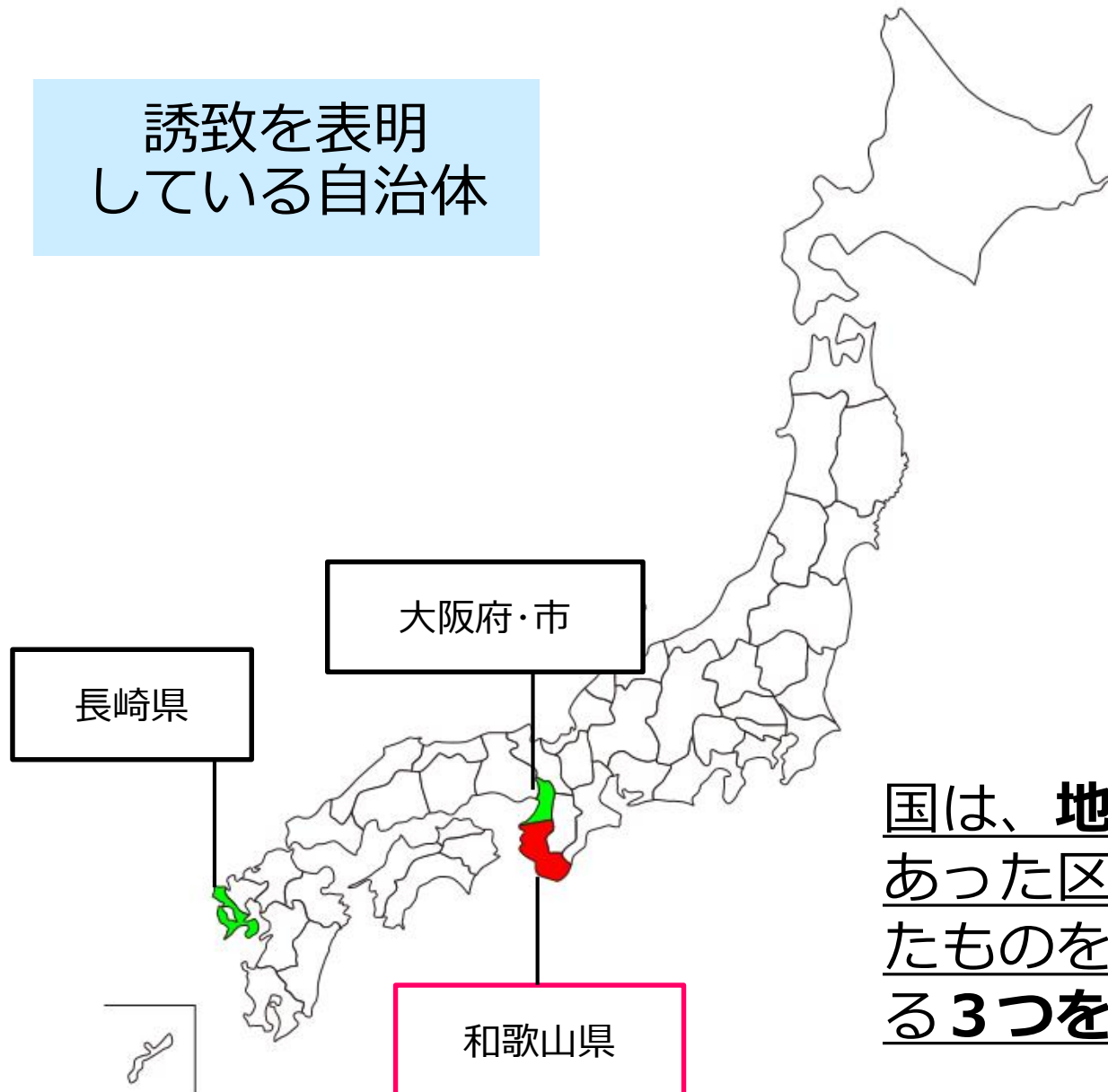
実施協定

長期・安定的にIRを実施するため、県と事業者で締結

- 事業期間：区域整備計画の認定日から40年間
- 権利を第三者へ譲渡しないこと
- 事業計画と実施状況をモニタリングすること
- 特段の定めがない限り事業者がリスクを負う など



誘致を表明
している自治体



国は、地域を問わず、申請があった区域整備計画から優れたものを、認定数の上限である3つを超えない範囲で認定